

TOSHIBA

第182期定時株主総会

第182期報告事項

会計監査人及び監査委員会の監査報告

会計監査人及び監査委員会による監査の結果は、お手元の第182期報告書48ページから53ページをご覧ください

2020年度連結業績

コロナ影響を主因に対前年減収も、当期純利益は対前年大幅改善

	20年度実績	19年度実績	差異
売上高	3.1兆円	3.4兆円	▲0.3兆円
営業損益 (ROS*1)	1,044億円 (3.4%)	1,305億円 (3.8%)	▲261億円 (▲0.4pt)
EBITDA*2 (EBITDAマージン)	1,896億円 (6.2%)	2,101億円 (6.2%)	▲205億円 (+0pt)
当期純損益 一株当たり当期純損益	1,140億円 251.25円	▲1,146億円 ▲236.39円	+2,286億円 +487.64円

*1 ROS = 営業利益 / 売上高 *2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費



TOSHIBA

第182期定時株主総会

当社グループの経営方針

2021年6月25日

株式会社 東芝

代表執行役社長 CEO

綱 川 智

TSR*向上のための株主還元方針及び実行

株主還元方針に従って着実に還元を実行

株主還元方針

- 平均連結配当性向30%以上を基本に、安定的・継続的な増加を図る
- 適正資本を超える部分は、自己株式取得を含む株主還元の対象とする
- キオクシア株式を現金化した際には手取金純額の過半を株主還元に充当（現金化の可能な方策について継続検討）

株主還元の実行

20年度
期末配当

期末配当70円、中間配当と合わせて年間80円(配当性向30.4%)
前年比+60円の増配

適正資本を
超える
1,500億円
を追加還元

- 21年6月30日を基準日とする総額約500億円、一株当たり110円の特別配当
- 21年6月8日から12月31日までの期間に1,000億円を上限とする自己株式の取得

* Total Shareholders Return キャピタルゲインと配当を合わせた、株主にとっての総合投資利回り

新中期経営計画の策定

環境変化を受けて、事業ポートフォリオを含む戦略を修正

事業構造・社会 構造の変化

景気変動
リスク

新型コロナ
ウイルス

米中貿易摩擦

原材料費の
値上げ

輸送コストの
高騰

半導体不足

カーボンニュートラル に対する機運の高まり



デジタル/データ 事業の成長加速



新中期経営計画への反映(10月発表予定)



人と、地球の、明日のために。

**Committed to People,
Committed to the Future.**

会社法第316条第2項に定める 株式会社の業務及び財産の状況を 調査する者の報告の件

- ※お配りした「調査報告書」をご覧ください。
- ※当社HPにも掲載しています。

https://www.toshiba.co.jp/about/ir/jp/stock/pdf/tsm182_4.pdf

TOSHIBA

第182期定時株主総会

取締役11名選任の件

招集ご通知6ページ以下及び「第182期定時株主総
会議案の一部撤回に伴う議決権行使の取り扱いに
関するお知らせ」をご覧ください

候補者番号3番及び5番は撤回しております

取締役11名選任の件

取締役候補者の氏名、候補者とした理由等は、候補者番号1番、2番、4番、6番から13番の11名について、招集ご通知11ページから28ページをご覧ください。

TOSHIBA

第182期定時株主総会